



ふるさと“みやぎ” の食の学び 耕



平成27年度 文部科学省 東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業

ふるさと“みやぎ”の食の学び

耕

発行：学校法人 朴沢学園 明成高等学校 調理科

制作協力：一般社団法人農山漁村文化協会

目次

はじめに	3
食の学びをはじめよう！	4
「和の食」に学ぶ 食の学びプログラム	6
自然と人との関わり	
ふるさとを耕し続けた先人たちの志	8
日本におけるセイヨウカボチャの祖「芳香青皮栗」の誕生物語	10
カボチャの品種—世界を旅したカボチャたち	12
カボチャの栽培—タネまきから収穫まで	14
カボチャのふしぎ—受粉と収穫	16
人と食との関わり	
幸せ願うカボチャ色 ①冬至とおひさま色のパウンドケーキ	18
幸せ願うカボチャ色 ②春節と金色に輝く餃子	20
食と地域との関わり	
とっておき！のカボチャづくり	22
とっておき！のお八つづくり	24
とっておき！の紙芝居づくり	26
紙芝居「ぞうさん色のとっておきのかぼちゃ物語」	28

はじめに



平成27年(2015年)3月、宮城県地域の伝統的な白菜の食文化資源を活用した食の学びプロジェクト「みんなの白菜物語」の活動が縁で、宮城県にゆかりのあるカボチャの食文化と出会いました。それは、日本におけるセイヨウカボチャの祖となる品種「芳香青皮栗」からはじまる物語。昭和9年(1934年)に、宮城県美里町小牛田の渡辺採種場から発表された品種です。

私たちの今日の食卓に、ごくあたり前に登場するホクホク・ボクボクの甘いカボチャ。これが、セイヨウカボチャという種類であり、実は宮城発祥の「芳香青皮栗」がその祖であったこと。このことに強い興味がわいた私たちは、平成27年の春からカボチャの食文化をテーマとした新たな「食の学びプロジェクト」を開始することにしました。

それが、今回のカボチャの学びプロジェクト「仙いかぼちゃ耕校」です。

- ・地域に存在するカボチャの食文化資源
- ・平成27年12月6日に開業した仙台市地下鉄東西線
- ・地下鉄沿線の地域資源(東日本大震災で被災した仙台市若林区荒井地区の圃場や、社会教育施設である八木山動物公園など)

をかけあわせた、地域独自の新たな食の学びプロジェクトとして構想し、取り組みが進められています。

この食の学びから誕生した、たくさんの成果物(作品)や栽培の記録を「学びのタネ(教材)」として本冊子にまとめました。この学びのタネが、ふるさとの復興をめざすたくさんの方々の食の学びへと展開することを心から願っています。

芽を出し、根をはり、葉を広げ、花を咲かせ、たくさんの実を实らせませすように。

平成28年3月